

平成 25 年度

第 1 回 対策地域内廃棄物等処理業務(減容化処理)に係るアドバイザー委員会
議事要旨

日時 : 平成 26 年 1 月 22 日 14:30~16:15

場所 : 環境省東北地方環境事務所福島環境再生事務所北庁舎大会議室

出席委員(敬称略)

東北大学大学院 教授 環境科学研究科 環境科学専攻	吉岡 敏明
国立環境研究所 資源循環・廃棄物研究センター センター長	大迫 政浩
京都大学工学部 教授 工学研究科 都市環境工学専攻	米田 稔
全国都市清掃会議 技術部長	荒井 喜久雄

オブザーバー

福島県相双地方振興局 県民環境部 主幹兼副部長 兼環境課長	八巻 孝幸
-------------------------------	-------

議事要旨

I アドバイザー委員会の設置要綱について

アドバイザー委員会の設置要綱について事務局から説明がなされ、設置が了承された。

II 飯舘村 5 トン仮設焼却炉についての検討

1. 業務内容

神鋼環境・神戸製鋼共同企業体(以降 JV と記載)より、業務内容について説明があった。

2. 生活環境影響調査

委員より、セシウム値について、短期予測評価値の方が長期予測評価値より低いこと
の理由について質問があった。「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」(平成 18 年)
を確認の結果、短期予測評価値はバックグラウンド値を含まない「最大着地濃度」であ
り、長期予測評価値はバックグラウンドを含む「将来予測濃度」であることから、この
ような逆転現象が起きていることが判明した。誤解を避けるため、該当ページにこの
旨を注記しておくこととした。

3. 飛灰の保管・埋立処分

環境省より、「10万 Bq/kg 以下は管理型処分場にて埋立処分、10万 Bq/kg 以上は中間貯蔵施設で保管となる。」との説明があった。

なお、10万 Bq/kg 以上の場合、当面の間、キレート剤を混合するにとどめ、セメント固化しないこととした。

4. 運営（運転）管理

1) 搬入ごみの仕分け

委員より、搬入されたごみの仕分け方法について質問があった。JV より、搬入ごみは、テント内で、フレコンバッグ毎に展開検査を行い、ふとんや家具等の軟質物、硬質物といった性状と放射能濃度レベルにより仕分けを行うとの説明があった。

2) 搬入ごみの特徴

委員より、地域的に予想される様々なごみへの対応について、特に、害獣用の網など、破砕し難いものへ留意、また、肥料等に含まれる硫黄や窒素にも留意するよう助言があった。

3) HEPA フィルタの管理

委員より、HEPA フィルタの管理方法を提示すべきとの意見があった。

5. 放射性物質濃度測定、空間線量率測定

1) 煙道（排ガス）中放射性物質濃度計

委員より、排ガス中の放射性物質濃度を連続監視することに関する技術的助言がなされた。

2) 空間線量率モニタリングポスト

仮設焼却炉周辺地域に設置予定のモニタリングポストの設置場所について意見が交換された。環境省と飯舘村、福島県との協議に委ねられることとなった。

6. その他

委員より、建設前に行う土壌調査について、サンプリングポイントが少しずれるだけでも値が大きくずれることがあるので測定ポイントには十分留意するよう助言があった。

以上